

解剖学変異を中心としたHPの構築
ー医学教育システムとの融合の試みー

慶應義塾大学医学部解剖学教室
船戸 和弥

これまで取り組んできたホームページの概要
(ホームページのアドレスは現在引き継いで公開している。)

1. 1997年にラテン語、日本語、英語併記した解剖学用語集というホームページを1997年に公開した (Fig.1)。

<http://funatoya.com/funatoka/TA.html> (Fig.1)

2. 国際解剖学用語はラテン語のみの記述であったが1997年に13回国際解剖学会議でTerminologia Anatomica(TA)が承認され、1998年に国際解剖学用語として英語が公式の代用語として併記され出版された。中枢神経系の項目で大幅に国際用語が更新されて、日本解剖学会が正式な日本語として2007年に13版で英語が併記され、ようやく日本解剖学会が選定したラテン語、日本語、英語が揃った。解剖学用語のHPは一定の役割を果たしてきた。

<http://funatoya.com/funatoka/anatomy/TA/TA-contents.html> (Fig.2)

3. 脳神経外科の片山正輝医師が慶應義塾大学医学部解剖学教室に派遣され、脳の断面 (Fig.3)、脳の血管 (Fig.4) などの臨床に役立つHPをテーマに2000年頃に作成する。2011年には脳血管治療学習会の脳血管内治療に用いる各種デバイスを公開している (Fig.5)。

http://funatoya.com/katayama/brain_mri/ (Fig.3)

<http://funatoya.com/katayama/angio/index.html> (Fig.4)

<http://funatoya.com/katayama/endovascular/index.html> (Fig.5)

4. 脳神経 (Fig.6)、人体解剖学Rauber-Kopsch (Fig.7)、Spalteholz (Fig.8) などの解剖学のHP公開している。

<http://funatoya.com/funatoka/anatomy/cranial/> (Fig.6)

<http://funatoya.com/funatoka/Rauber-Kopsch.html> (Fig.7)

<http://funatoya.com/funatoka/anatomy/spalteholz/contents.html> (Fig.8)

5. NNACで発表の機会を得て「解剖学変異を中心としたHPの構築」としてアクセス制限付きで公開中である。

<http://funatoya.com/katayama/> (脳神経外科領域の編集) (Fig.9)

<http://funatoya.com/yamada/> (全体の編集、およびCT、MRI画像の追加)

<http://funatoya.com/koizumi/> (消化器外科領域の編集を担当)

<http://funatoya.com/tsubokawa/> (自然科学・比較解剖領域の編集を担当)

今後の目標

6. 共同作成者を増やして、信頼性の高い医学教育サイトをめざしていきます。



船戸和弥のホームページへようこそ!!
医学の発展のために

船戸和弥のホームページ
お問い合わせは: funatoka@gmail.comまで

CONTENTS

- トップページ
- 解剖学 (Anatomy)
- 解剖学用語
- Rauber-Kopsch (解剖学)
- 解剖学 (TA)
- 解剖学テキスト
- 脳血管内治療学会
- リンク集
- お問い合わせ

解剖学用語 Terminologia anatomy

解剖学用語の作成にあたっては、東京慈恵会医科大学病院脳神経外科 吉野薫先生の協力を得て作成しました。

- **最新解剖学用語** (Base on Terminologia Anatomica 1998)
- **解剖学用語** (Base on Nomina Anatomica 6th edition)
ラテン語、日本語、英語の順で記述しています。また最後の数字は図解の参考として Feneis 図解解剖学事典、第2版 (医学書院 発行) の参照ページと番号を採用しました。学名 (ラテン名) は Nomina Anatomica 6.ed. (1985年ロンドン) を土台として英語も併記したものです。
- **解剖学用語の歴史** (Terminologia anatomicaまで)
- **一般用語** (Termini generales)
- **骨学** (Osteologia)

解剖学用語
Terminologia anatomica

解剖学テキスト
Anatomy

アクセス
ACCESS

慶應義塾大学医学部解剖学教室内
船戸和弥

〒160-8582
東京都新宿区信濃町35番地
TEL 03-3353-1211 (代表)

Figure 1

Terminologia Anatomica

一般解剖学 (A01)

一般用語

人体の体部

平面、線および部位

系統解剖学

骨; 骨格系 (A02)

一般用語

頭蓋; スガイ

頭蓋骨; スガイコツ

脊柱

胸郭骨

上肢骨

下肢骨

連結; 関節系 (A03)

一般用語

頭蓋の連結

脊柱の連結

胸郭の連結

骨盤帯の連結

上肢の連結

下肢の連結

筋; 筋系 (A04)

一般用語

頭部の筋

頸部の筋

背部の筋

胸部の筋

腹部の筋

上肢の筋

下肢の筋

腱鞘と滑液包

消化器系 (A05)

口

口峽

咽頭

食道

胃

解剖学用語 Terminologia anatomy

Anatomia systemica 【系統解剖学 けいとうかいぼうがく】 Systemic anatomy

東京慈恵会医科大学病院脳神経外科 吉野薫先生の協力を得て作成しました。

Base on Terminologia Anatomica 1998

識別記号 日本語 (ラテン語) 【日本語 日本語読み】 英語) Feneis: *** ** Eponyms の順で記載されています。Feneis: *** ** は図解解剖学事典第2版 医学書院 (ISBN 4-260-13625-9) のページおよび番号をします。つまり、Feneis を参照していただければ、その用語の説明と図が記載されています。図解解剖学事典ではなく、Feneis の原著 8 版にあるものには番号の後に小文字のアルファベットを入れてありますのでご注意ください。日本語は、2007年3月に解剖用語改訂13版 (ISBN 978-4-260-00073-4) が出版されました。正式な日本語については解剖学用語改訂13版を参照してください。この解剖学用語集は Terminologia Anatomica (TA) ISBN-3-13-114361-4 0r6 を土台に作成したものです。ラテン名および英語名を補強しており用語単独でも分かるように工夫してあります。正式な国際解剖学用語は TA をご参照下さい。また、【】内の日本語は学会が採用しなかった名称も積極的に併記したものです。スベルミスや間違い等ございましたらご連絡をお願いします。

General Anatomy 一般解剖学 (A01)

- ▶ **General terms 一般用語**
- ▶ **Pats of human body 人体の体部**
- ▶ **Planes, lines and regions 平面、線および部位**

Systemic anatomy 系統解剖学

- ▶ **Bones; Skeletal system 骨; 骨格系 (A02)**
 - **General terms 一般用語**
 - **Cranium 頭蓋; スガイ**
 - **Bones of cranium 頭蓋骨; スガイコツ**
 - **Vertebral column 脊柱**
 - **Thoracic skeleton 胸郭骨**
 - **Bones of upper limb 上肢骨**
 - **Bones of lower limb 下肢骨**
- ▶ **Joints: Articular system 連結; 関節系 (A03)**
 - **General terms 一般用語**
 - **Joints of skull 頭蓋の連結**
 - **Vertebral joints 脊柱の連結**
 - **Thoracic joints 胸郭の連結**
 - **Joints of pelvic girdle 骨盤帯の連結**
 - **Joints of upper limb 上肢の連結**
 - **Joints of lower limb 下肢の連結**
- ▶ **Muscles; Muscular system 筋; 筋系 (A04)**
 - **General terms 一般用語**
 - **Muscles of head 頭部の筋**
 - **Muscles of neck 頸部の筋**
 - **Muscles of back 背部の筋**

Figure 2

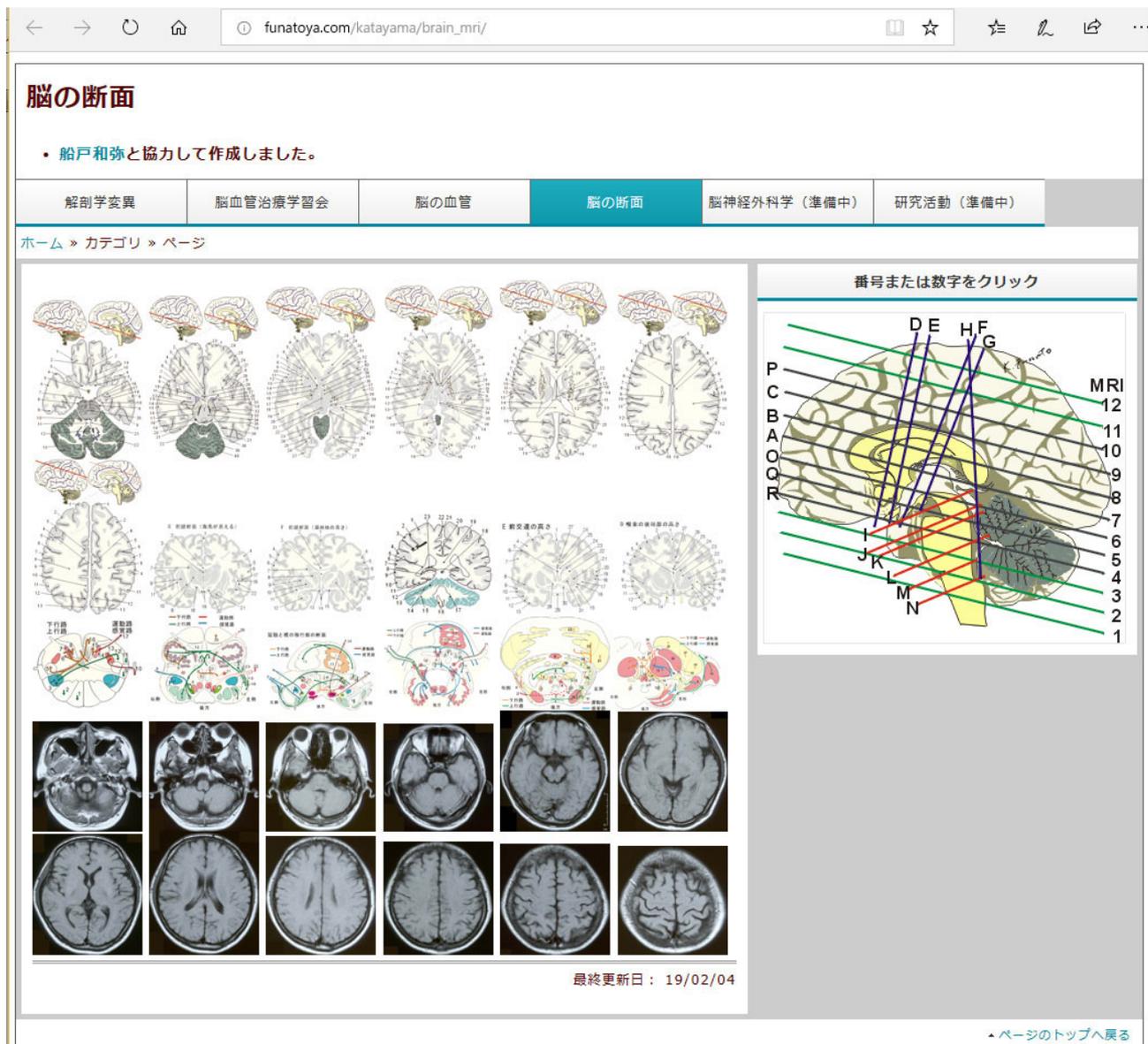


Figure 3

funatoya.com/katayama/angio/index.html

脳の血管 (一覧)

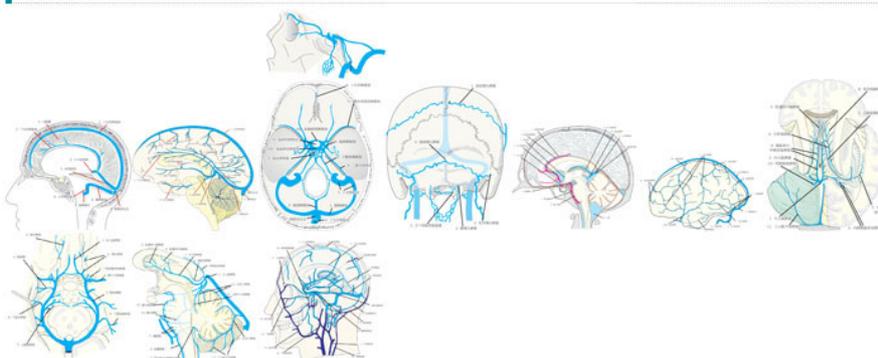
片山正輝と船戸和弥氏が協力して作成しました。

解剖学変異 | 脳血管治療学習会 | **脳の血管** | 脳の断面 | 脳神経外科学 (準備中) | 研究活動 (準備中)

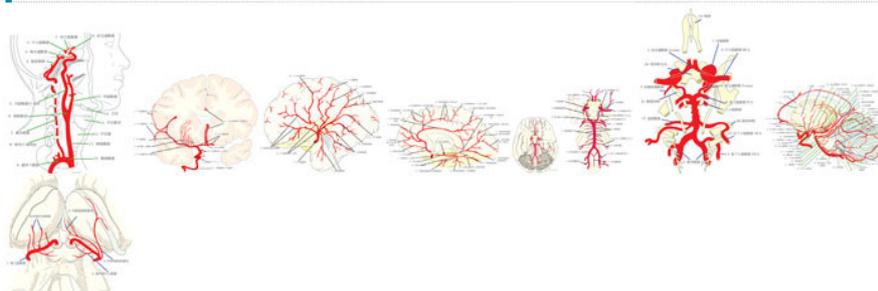
ホーム » カテゴリ » ページ

脳の血管

静脈系



動脈系



最終更新日 : 19/02/06

脳の血管	
静脈系	
・	硬膜静脈洞および大脳内側面の静脈
・	頭蓋底内面の静脈洞
・	後頭部の静脈
・	内面から見たクモ膜下槽と関係のある血管
・	大脳の表面の静脈 (浅大脳静脈) の走行
・	大脳の静脈 (上方から)
・	脳底の静脈
・	矢状断面での大脳静脈
・	頭部静脈系の側副循環の半模式図
動脈系	
・	内頸動脈、椎骨動脈の起始と走行
・	右の内頸動脈 (前方より)
・	中大脳動脈の皮質枝
・	大脳半球内側面の動脈
・	脳底の動脈 (大動脈輪を中心に)
・	小脳、脳幹、視床、線条体の動脈

Figure 4

The screenshot shows a web browser window with the URL funatoya.com/katayama/endovascular/index.html. The page title is "脳血管内治療学会 脳血管内治療に用いる各種デバイス" (Cerebrovascular Intervention Society: Various Devices Used in Cerebrovascular Intervention). Below the title, it states that the society is organized by Professor Akiyoshi Akashi (Keio University) and Professor Kazumasa Katayama (Keio University).

The navigation menu includes: 解剖学変異, 脳血管治療学会 (selected), 脳の血管, 脳の断面, 脳神経外科学 (準備中), and 研究活動 (準備中). The breadcrumb trail is "ホーム » カテゴリ » ページ".

The main content area is divided into two columns. The left column contains:

- 脳血管内治療学会**
 - 各種デバイスにはアクセス制限が設置してあります (Keio Endovascular)。
 - 症例およびその治療方法**
 - 頸部内頸動脈狭窄症と頸動脈ステント留置術**
 - 1) 頸部内頸動脈狭窄とその治療方法について
 - 2) 使用されるデバイス
 - くも膜下出血 (破裂脳動脈瘤) と脳血管内手術 (コイル塞栓術)**
 - 1) くも膜下出血とその治療方法について
 - 2) 使用されるデバイス
 - 脳血管内治療に使用するデバイス一覧**
 - TOPICS**
 - ・ 工事中
 - NEWS新着情報**
 - 2019年2月3日: 片山正輝のホームページへ引っ越しました。
 - 2014年6月9日: デバイスの項目をセルリアンDD6をガイドワイヤカテーテルに移動しました。
 - 2014年5月1日: カタログデータを更新しました。デバイスの項目を整理しました。
 - > 2013年2月22日: カタログデータを更新しました。

The right column is titled "各種デバイス" and lists 18 items:

- シースイントロドューサー01
- シースレスガイドワイヤ02
- ガイドワイヤ～標準～03
- ガイドワイヤ～微細血管～04
- ガイドワイヤカテーテル05
- オクルージョンカテーテル06
- フローダイレクトカテーテル07
- スネア08
- コイル09
- クローザー10
- アンジオカテーテル～コアキシャル～11
- 頭蓋内バルーン12
- リモデリング用バルーンカテーテル13
- マイクロカテーテル14
- PTAバルーン15
- ステント16
- 頸動脈ステント&フィルターワイヤ17
- 液体造影物質18

Figure 5

脳神経の概要

- 終神経 [0]
- 嗅神経 [I]
- 視神経 [II]
- 動眼神経 [III]
- 滑車神経 [IV]
- 三叉神経 [V]
- 外転神経 [VI]
- 顔面神経 [VII]
- 内耳神経 [VIII]
- 舌咽神経 [IX]
- 迷走神経 [X]
- 副神経 [XI]
- 舌下神経 [XII]

最終更新日：
12/04/24



脳神経の概要

- ・脳幹における各領域の位置関係
- ・脳神経の分類
- ・一般的な分類
- ・構成される線維での分類

脳神経は脳から出る末梢神経で12対あるとされている。しかし、嗅神経 [I] は嗅上皮の感覚細胞の突起であり、嗅神経は最終的には約20本の嗅糸にまとまる細線維の叢であって、本来は嗅細胞自身の中枢性突起である。

視神経 [II] は脳の一部である。視神経は発生的には中枢神経系の一部と見なされる網膜の神経節細胞の軸索であるから、内側毛帯などと同じ中枢神経系の線維系である。

舌下神経 [XII] は、比較解剖学的には脊髄神経である。舌下神経は、脊髄神経の頭側の3本が一体となって頭蓋内に取り込まれたものである。このような理由から嗅神経、視神経、舌下神経の3対は厳密な意味では脳神経ではない。J.N.Aでは嗅神経と視神経を脳神経から省いて、その代わりに終神経と中間神経を加えていたので伝統的に脳神経は12対とされている。中間神経を顔面神経から独立されることは不当である。

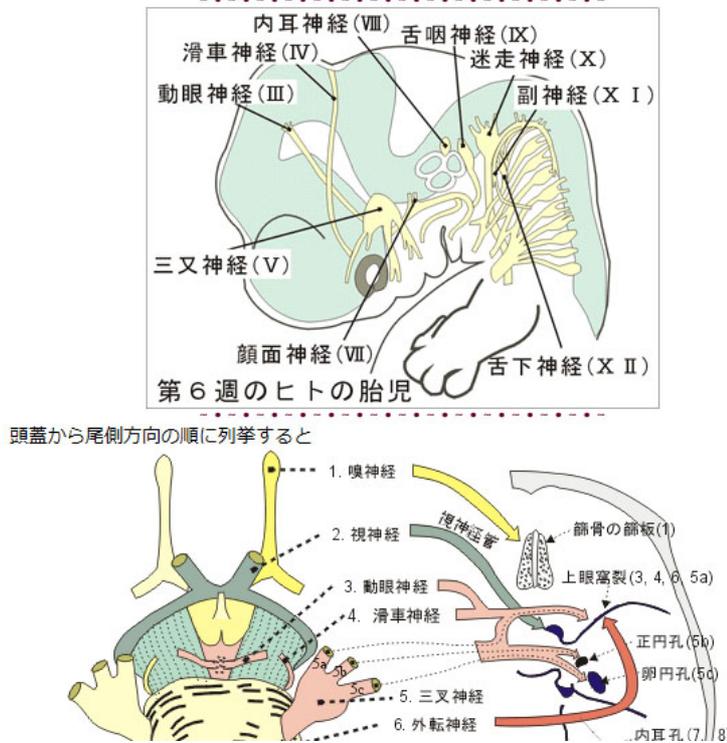
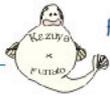


Figure 6



船戸和弥のホームページへようこそ!!
医学の発展のために

船戸和弥のホームページ
お問い合わせは:funatoka@gmail.comまで

CONTENTS

- トップページ
- 解剖学(Anatomy)
- 解剖学用語
- Rauber-Kopsch (解剖学)
- 解剖学(TA)
- 解剖学テキスト
- 脳血管内治療学会
- リンク集
- お問い合わせ

解剖学用語
Terminologia anatomica

解剖学テキスト
Anatomy

アクセス
ACCESS

産康義塾大学医学部解剖学教室内
船戸和弥

〒160-8582
東京都新宿区信濃町35番地
TEL 03-3353-1211 (代表)

人体解剖学 Rauber-Kopsch

- 緒言
- 総論
- I. 骨格系
 - 骨学 関節学
- II. 筋系
 - 筋学総論 筋学各論
- III. 脈管系
 - 脈管学総論 脈管学各論
- IV. 内臓学
 - 内臓学総論 内臓学各論
- V. 神経系
 - 神経学総論 神経学各論
- VI. 感覚器
 - 嗅覚器 味覚器 視覚器 平衡および聴覚器 外皮または皮膚

いいね! Facebookに登録して、友達の「いいね!」を見てみましょう。

Figure 7

Spalteholz HANDATLAS DER ANATOMIE DES MENSCHEN VON WERNER SPALTEHOLZ

メニューは解剖学 (TA) にリンクしてあります。図の番号をクリックすると下記の説明へ、右側の用語をクリックすると解剖学 (TA) にジャンプします。

- HOME
- 一般用語
- 骨格系
- 関節系
- 筋系
- 消化器系
- 呼吸器系
- 胸郭
- 泌尿器系
- 生殖器系
- 腹骨盤腔
- 内分泌腺
- 心臓血管系
- リンパ系
- 神経系
- 感覚器
- 外皮

いいね! シェア 20人が「いいね!」しました。Facebookに登録して、友達の「いいね!」を見てみましょう。

- Band1 (骨、関節、靭帯) 13版 (1933) 1-骨 2-関節 3-靭帯
- Band2 (部位、筋、心臓、血管) 14版 (1939) 4-部位 5-筋 6-心臓 7-血管
- Band3 (腸管、脳、神経、感覚器官) 13版 (1933) 8-腸管 9-脳 10-神経 11-感覚器官

Band1 (骨、関節、靭帯) 13版 (1933)

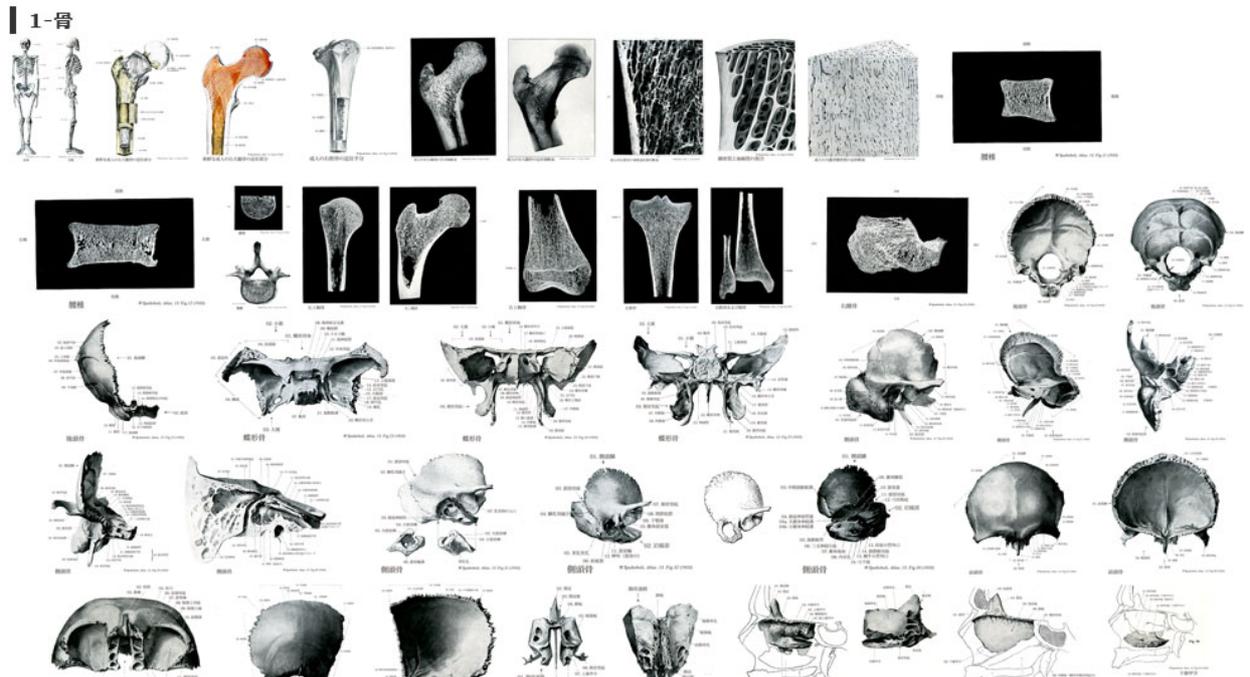


Figure 8

片山正輝のホームページ

船戸和弥氏の提案を受け、医学の発展のためにホームページを作成することに致しました。脳神経外科に關係する領域を慶應義塾大学病院放射線診断学の山田稔博士と協力しながら日本を代表する医学教育サイトを目標します。全体の構成は船戸氏が担当していますので問題があれば船戸氏にご連絡を頂ければ幸いです。

プロジェクトメンバー（船戸和弥、片山正輝→脳神経外科学領域、山田稔→全領域、小泉巨→消化器外科領域、坪川達也→自然科学・比較解剖領域）2019年2月22日現在

解剖学変異	脳血管治療学学会	脳の血管	脳の断面	脳神経外科学（準備中）	研究活動（準備中）
-------	----------	------	------	-------------	-----------

ホーム » カテゴリ » ページ

現在作成中のためアクセス制限が設置してあります。

- 骨学（はじめに）
- I 胴の骨
 - 1-脊柱
 - 1-椎骨の数
 - (1)環椎癒合 (2)頸椎の癒合 (3)胸椎の数 (4)腰椎の数 (5)仙前椎数 (6)仙椎の数
 - 2-頸椎
 - (1)環椎 (2)第2-第7頸椎
 - 3-仙骨
 - (1)仙腸関節 (2)仙骨後弓の変異 (3)重複岬角
 - 4-仙骨との移行部
 - (1)腰仙移行椎 (2)仙尾移行椎
 - 2-胸郭
 - 1-胸骨
 - (1)頸切痕 (2)胸骨柄と胸骨体 (3)剣状突起
 - 2-肋骨
 - (1)頸肋 (2)第10肋骨の遊離 (3)臑肋
- II 頭蓋
 - 1-頭蓋の全景と縫合
 - 1-頭蓋長幅示数(頭示数)
 - 2-頭蓋の縫合
 - (1)前頭縫合 (2)横後頭縫合痕跡 (3)頰骨横縫合 (4)プレリオン (5)眼高下縫合 (6)横口蓋縫合 (7)切歯縫合
 - 3-縫合骨
 - (1)プレグマ骨 (2)頭頂切痕骨 (3)上プレリオン骨(輿上骨) (4)ラムダ小骨 (5)アステリオン骨 (6)インカ骨 (7)その他の縫合骨
 - 2-脳頭蓋
 - 1-後頭骨
 - (1)上矢状洞溝の横洞溝への合流形態 (2)虫様小高 (3)後頭顆の形状 (4)第三後頭顆 (5)傍顆突起(乳突傍突起) (6)顆前結節 (7)大後頭孔 (8)舌下神経管 (9)頸静脈孔 (10)顆管の欠如 (11)乳突後突起 (12)(横)後頭隆起
 - 2-蝶形骨
 - (1)視神経管 (2)蝶形導 出静脈孔 (3)卵円孔形成不全 (4)床状突起間骨橋 (5)異棘孔 (6)硬膜眼高孔

解剖学変異(アクセス制限中)

- 1-骨学
- 2-筋学
- 3-脈管学
- 4-中枢神経系
- 5-末梢神経系
- 6-内臓学

Figure 9